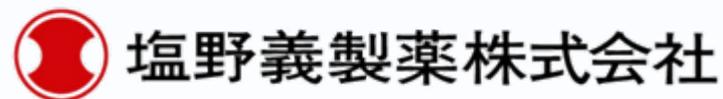




平成21年度(平成22年3月期)
決算説明会

平成22年5月11日
塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功



将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

平成21年度 決算の概要

経営成績（連結・単体）

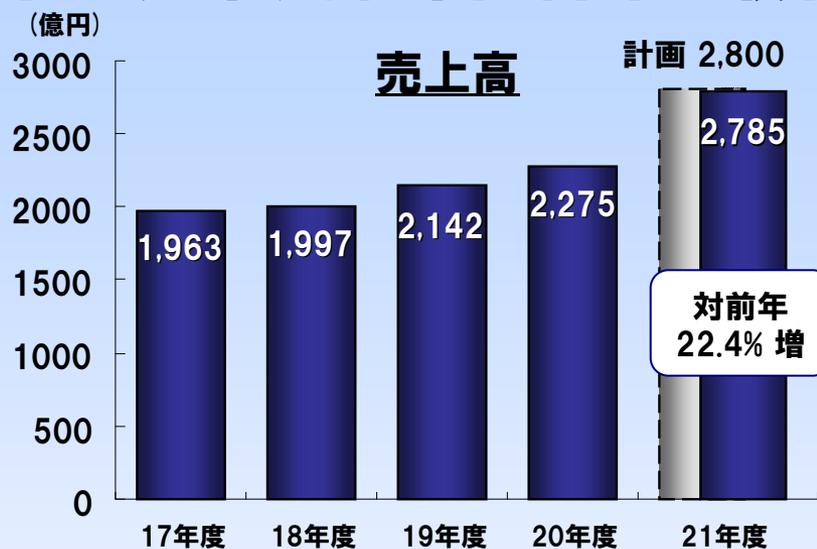
（単位：億円）

<連結>	21年度 予 測	21年度 実 績	対 予 測 達成率 (%)	対 予 測 差 異	20年度 実 績	対 前 年 UP率 (%)	対 前 年 増 減
売上高	2,800	2,785	99.5	△ 15	2,275	22.4	510
営業利益	600	524	87.4	△ 76	320	63.8	204
経常利益	580	505	87.1	△ 75	320	57.9	185
当期純利益	350	386	110.4	36	156	146.6	230

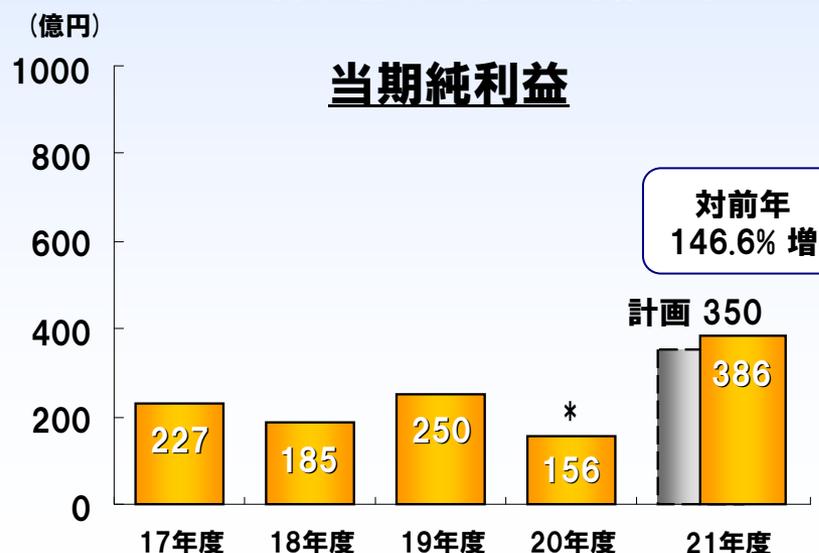
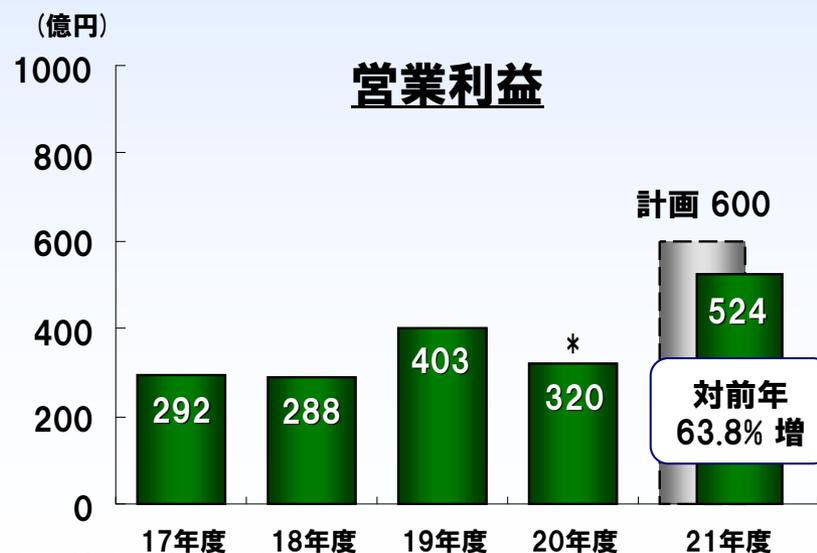
（単位：億円）

<単体>	21年度 予 測	21年度 実 績	対 予 測 達成率 (%)	対 予 測 差 異	20年度 実 績	対 前 年 UP率 (%)	対 前 年 増 減
売上高	2,255	2,285	101.4	30	2,067	10.6	218
営業利益	515	492	95.6	△ 23	362	35.9	130
経常利益	515	499	97.0	△ 16	379	31.7	120
当期純利益	320	407	127.4	87	238	70.8	169

第2次中期経営計画の最終実績（連結）



* IPRD費（96億円）を除いた20年度との対比では、20.1%増



財政状態およびキャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:億円)

<財政状態>	22年3月期 実績	21年3月期 実績	増減
総資産	5,407	5,018	389
純資産	3,419	3,100	319
自己資本比率	63.2%	61.7%	+ 1.5%
1株当たり純資産	1,019円	924円	95円

(単位:億円)

<キャッシュ・フローの状況>	21年度 実績	20年度 実績	増減
営業活動によるC/F	529	291	238
投資活動によるC/F	△ 8	△ 1,490	1,482
財務活動によるC/F	△ 49	1,052	△ 1,101
計	461	△ 160	621
現金等期末残高	976	515	461

セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	21年度 予 測	21年度 実 績	対 予 測 達成率 (%)	対 予 測 差 異	20年度 実 績	対 前 年 UP率 (%)	対 前 年 増 減
医療用医薬品	1,555	1,525	98.1	△ 30	1,532	△ 0.5	△ 7
クレストール	230	242	105.1	12	177	36.6	65
フロモックス	240	240	100.0	0	273	△ 12.1	△ 33
リンデロン等外用	95	95	99.7	0	96	△ 1.3	△ 1
クラリチン	97	90	93.1	△ 7	96	△ 6.4	△ 6
フルマリン	90	87	96.6	△ 3	101	△ 13.9	△ 14
オキシコンチン	88	85	96.7	△ 3	77	10.6	8
塩酸バンコマイシン	65	61	94.5	△ 4	81	△ 24.5	△ 20
イムネース	46	46	99.8	0	61	△ 24.8	△ 15
イルベタン	35	38	107.4	3	12	219.0	26
フィニバックス	40	34	84.0	△ 6	29	15.5	5
ディフェリン	28	22	77.8	△ 6	12	85.6	10
ビレスバ	17	15	89.6	△ 2	2	840.5	13
アベロックス	13	10	80.7	△ 3	15	△ 32.1	△ 5
ラビアクタ	-	6	-	6	-	-	6
輸出・海外事業	543	491	90.4	△ 52	186	163.5	305
シオノギファーマ	430	386	89.9	△ 44	92	319.5	294
ドリベネム	50	52	104.8	2	35	48.6	17
製造受託	64	74	116.0	10	57	28.8	17
一般用医薬品	50	54	107.8	4	52	3.2	2
診断薬	30	29	98.2	△ 1	33	△ 11.2	△ 4
ロイヤリティー収入	520	570	109.6	50	368	54.6	202
クレストール	495	500	101.0	5	343	45.7	157
その他の事業	38	41	107.0	3	44	△ 8.2	△ 3
合計	2,800	2,785	99.5	△ 15	2,275	22.4	510

損益計算書（連結）

（単位：億円）

	21年度 予 測	21年度 実 績	対 予 測 達成率 (%)	対 予 測 差 異	20年度 実 績	対 前 年 UP率 (%)	対 前 年 増 減
売 上 高 (ロイヤリティー)	2,800 (520)	2,785 (570)	99.5 (109.6)	△ 15 (50)	2,275 (368)	22.4 (54.6)	510 (202)
売 上 原 価	26.4 (32.5) 740	27.4 (34.4) 762	103.1	22	31.2 (37.2) 709	7.5	53
売 上 総 利 益	2,060	2,022	98.2	△ 38	1,565	29.2	457
販 売 費・一 般 管 理 費	52.1 1,460	53.8 1,498	102.6	38	54.7 1,245	20.3	253
販 売・管 理 費	960	979	102.1	19	717	36.6	262
研 究 開 発 費	500	518	103.6	18	528	△ 1.9	△ 10
営 業 利 益	21.4 600	18.8 524	87.4	△ 76	14.1 320	63.8	204
営 業 外 収 支	L 20	L 19	-	1	L 0	-	△ 19
経 常 利 益	20.7 580	18.1 505	87.1	△ 75	14.1 320	57.9	185
特 別 損 益	-	P 80	-	80	L 12	-	92
税 引 前 利 益	580	585	100.9	5	307	90.2	278
法 人 税 等	230	199	86.6	△ 31	151	31.7	48
当 期 純 利 益	12.5 350	13.9 386	110.4	36	6.9 156	146.6	230

業績予測との差異

<売上高> 2,800億円 ⇒ 2,785億円 △15億円

- 国内医療用医薬品 △30億円
- シオノギファーマ △44億円
- その他部門 +9億円
- ロイヤリティー +50億円
 - クレストール +5億円、サインバルタ +38億円、BNPその他+7億円

<営業利益> 600億円 ⇒ 524億円 △76億円

- 売上総利益の減 △38億円
 - ロイヤリティーの増 +50億円
 - 売上の減に伴う総利益の減 △56億円 国内医療用医薬品売上の減、シオノギファーマ売上の減
その他部門売上の増
 - 原価面での悪化要因 △32億円 販売品目構成、販売減等による操業の低下、原価低減の取組みの遅れ
- 販売費・一般管理費の増 △38億円 退職給付費用の増加分を他のコストダウンで吸収し切れず
 - 販売費・管理費の増 △19億円 ラピアクタ、サインバルタ関連の費用の前倒し
 - 研究開発費の増 △18億円 ラピアクタ関連の費用の前倒し、US関係の開発費の増

業績予測との差異

<当期純利益> 350億円 ⇒ 386億円 +36億円

- 経常利益の減 △75億円
- 特別損益の増 +80億円
 - 武州製薬事業譲渡益 +53億円、オムエル・東邦薬品株式交換益 +49億円、株式評価損等 △22億円
- 法人税等の減 +31億円 研究開発費税額控除の増、US連結納税等

平成22年度 業績予測

経営成績（連結・単体）

（単位：億円）

<連結>	22年度 予測	21年度 実績	対前年 UP率(%)	対前年 増減
売上高	2,950	2,785	5.9	165
営業利益	610	524	16.3	86
経常利益	590	505	16.8	85
当期純利益	390	386	1.0	4

（単位：億円）

<単体>	22年度 予測	21年度 実績	対前年 UP率(%)	対前年 増減
売上高	2,390	2,285	4.6	105
営業利益	570	492	15.7	78
経常利益	565	499	13.1	66
当期純利益	380	407	△ 6.8	△ 27

注：決算期の変更により、22年度は、米国子会社について、22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上

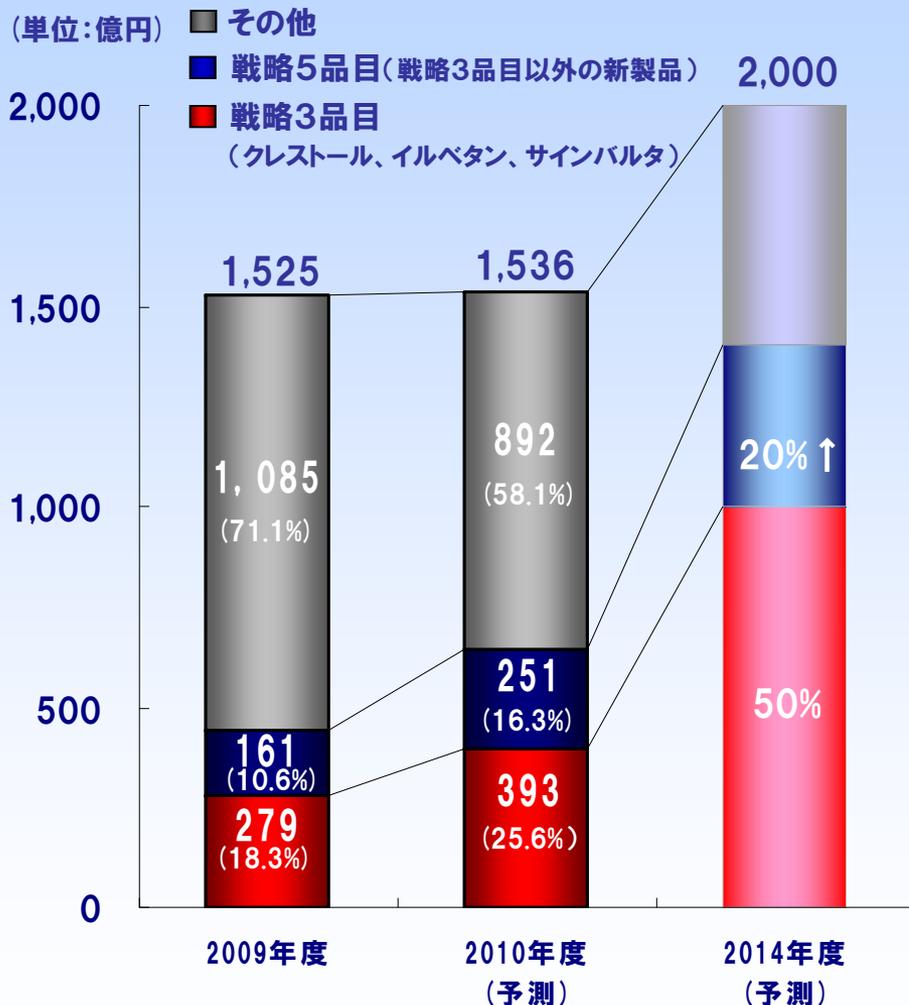
セグメント別売上高(連結)

(単位:億円)

	22年度 予 測	21年度 実 績	対前年 UP率(%)	対前年 増 減
医療用医薬品	1,536	1,525	0.7	11
クレストール	300	242	24.1	58
イルベタン	83	38	120.7	45
サインバルタ	10	-	-	10
戦略3品目合計	393	279	40.7	114
オキシコンチン	95	85	11.7	10
フィニボックス	43	34	28.0	9
ディフェリン	39	22	79.1	17
ピレスパ	34	15	123.2	19
ラピアクタ	40	6	627.2	34
戦略5品目合計	251	161	55.7	89
フロモックス	190	240	△20.8	△50
リンデロン等外用	89	95	△6.0	△6
クラリチン	81	90	△10.3	△9
フルマリン	66	87	△24.1	△21
塩酸バンコマイシン	39	61	△36.5	△22
イムネース	37	46	△19.4	△9
輸出・海外事業	616	491	25.5	125
シオノギファーマ	513	386	32.8	127
ドリベネム	54	52	3.1	2
製造受託	25	74	△66.3	△49
一般用医薬品	55	54	1.1	1
診断薬	28	29	△4.9	△1
ロイヤリティー収入	660	570	15.8	90
クレストール	635	500	27.0	135
その他の事業	30	41	△26.2	△11
合計	2,950	2,785	5.9	165

注: 決算期の変更により、22年度は、米国子会社について、22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上

戦略的新薬8品目の拡大



2010年度の取り組み

➤ クレストール

- JUPITER, COSMOS試験に基づいた動脈硬化退縮の治療戦略の強化
- LH比改善に伴う動脈硬化退縮効果メッセージの浸透

➤ イルベタン

- 現代の日本人に増加しているメタボリック症候群の高血圧患者治療に必要で、ガイドラインに合致した新世代のARBとしての位置づけの確保と差別化

➤ サインバルタ

- 精神科・心療内科などの専門医での「寛解を目指すうつ病治療の第一選択薬」としての評価の確立
- 本格的なデュアルアクションSNRIであることを訴求

営業利益（連結）

（単位：億円）

	22年度 予 測	21年度 実 績	対 前 年 UP率 (%)	対 前 年 増 減
売 上 高 (ロイヤリティー)	2,950 (660)	2,785 (570)	5.9 (15.8)	165 (90)
売 上 原 価	25.0 (32.2) 737	27.4 (34.4) 762	△ 3.4	△ 25
売 上 総 利 益	2,213	2,022	9.4	191
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	54.3 1,603	53.8 1,498	7.0	105
販 売 ・ 管 理 費	1,060	979	8.2	81
研 究 開 発 費	543	518	4.8	25
営 業 利 益	20.7 610	18.8 524	16.3	86

注：決算期の変更により、22年度は、米国子会社について、22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上

シオノギファーマの領域別売上予測

領域	22年度における取り組み	売上(百万ドル)	
		21年度実績	22年度予測
循環・代謝領域	● Nitrolingual Pumpspray(狭心症)、Fenoglide(脂質異常症)、Prandin(2型糖尿病)の成長とFortamet(2型糖尿病)の販売維持	243	300
婦人科領域	● Prenate Essentialの上市など、妊婦用ビタミン剤市場におけるPrenate Familyのシェア拡大	74	106
小児科領域	● Orapred ODT(喘息)、Ulesfia(頭じらみ)の販売拡大 ● Adrenaclick(アナフィラキシー)、Clonidine HCL(注意欠陥多動性障害)、Glycopyrrolate(流涎症)の新発売	96	164
合計		413	570

- 注) 1. 決算期の変更により、22年度は、22年1月～23年3月の15ヶ月分を計上
 2. 米国の医療改革法の成立に伴う影響は、現在精査中のため、上記予想額には織り込んでいない

予算管理の取り組みについて

<販売計画について>

- 月次の進捗をより厳密に管理し、営業部門と経営企画・経理財務部門で販売計画の実現性についてのディスカッションを進める
- 市場環境の影響などによる販売予測の変動に対して、常に予測数値をバックアップする計画の見直しを行う

<シオノギファーマを中心とした子会社の業績管理について>

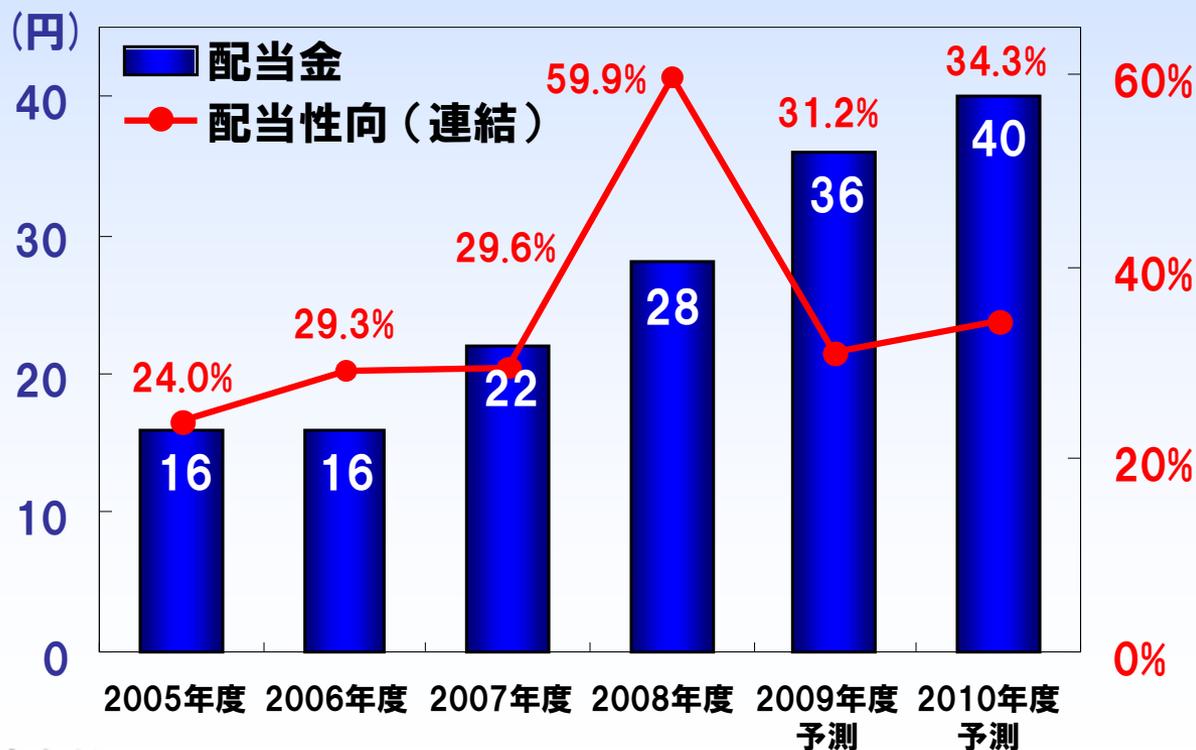
- シオノギファーマとシオノギUSAとの一体運営により、US事業運営の効率化を図ると共に、業績内容の迅速な把握に努める
- 国内子会社については、経理財務関係業務を中心としたシェアード化により効率化を図ると共に、業績内容の透明化に努める

<コスト管理について>

- 各事業部門の業績評価について、利益重視を明確にする
- 経費予算管理を厳格化し、月次の進捗について、各本部・事業部等と経営企画・経理財務部門でディスカッションを進める。場合によっては、資金枠の差し止めを行なう
- 経費予算目標の遂行のため、業務改革、風土改革の視点も入れた適正化プロジェクトを立ち上げる

配当について

- 配当については、今後も安定的に向上させていく
- 2009年度は、**1株当たり36円**の見通しに変更なし
- 2010年度の配当は**1株当たり40円**を予定



パイプラインの状況

開発品の進展（第3四半期決算発表以降）

◆ 新発売

- 2010年4月 サインバルタ[®]（デュロキセチン）：うつ病、うつ状態

◆ 承認申請

- 2010年2月 ラピアクタ[®]（ペラミビル）：インフルエンザ感染症、小児
- 2010年3月 フィニバックス[®]：重症感染症、用法用量追加申請（1g×3回/日）

◆ フェーズの進展

- S-707106（インスリン抵抗性改善薬）：2型糖尿病
 - 米国Phase I 開始
- S-222611（Her2/EGFRデュアル阻害薬）：悪性腫瘍
 - 欧州Phase I b 開始
- S-297995（末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト）：
オピオイド投与に伴う消化器症状
 - 米国Phase II a 開始

開発品の追加・中止（第3四半期決算発表以降）

◆ 開発品の追加

- S-474474（アンジオテンシン受容体拮抗薬とチアジド系利尿薬の経口配合剤）：高血圧症
 - 国内Phase III 開始

◆ 開発の中止

- S-013420（新規マクロライド系抗生物質 細菌感染症）
- NS75B（GnRHアンタゴニスト 前立腺肥大症）
- S-0139（エンドセリンA受容体拮抗薬 脳血管障害）

<シオノギファーマのパイプライン>

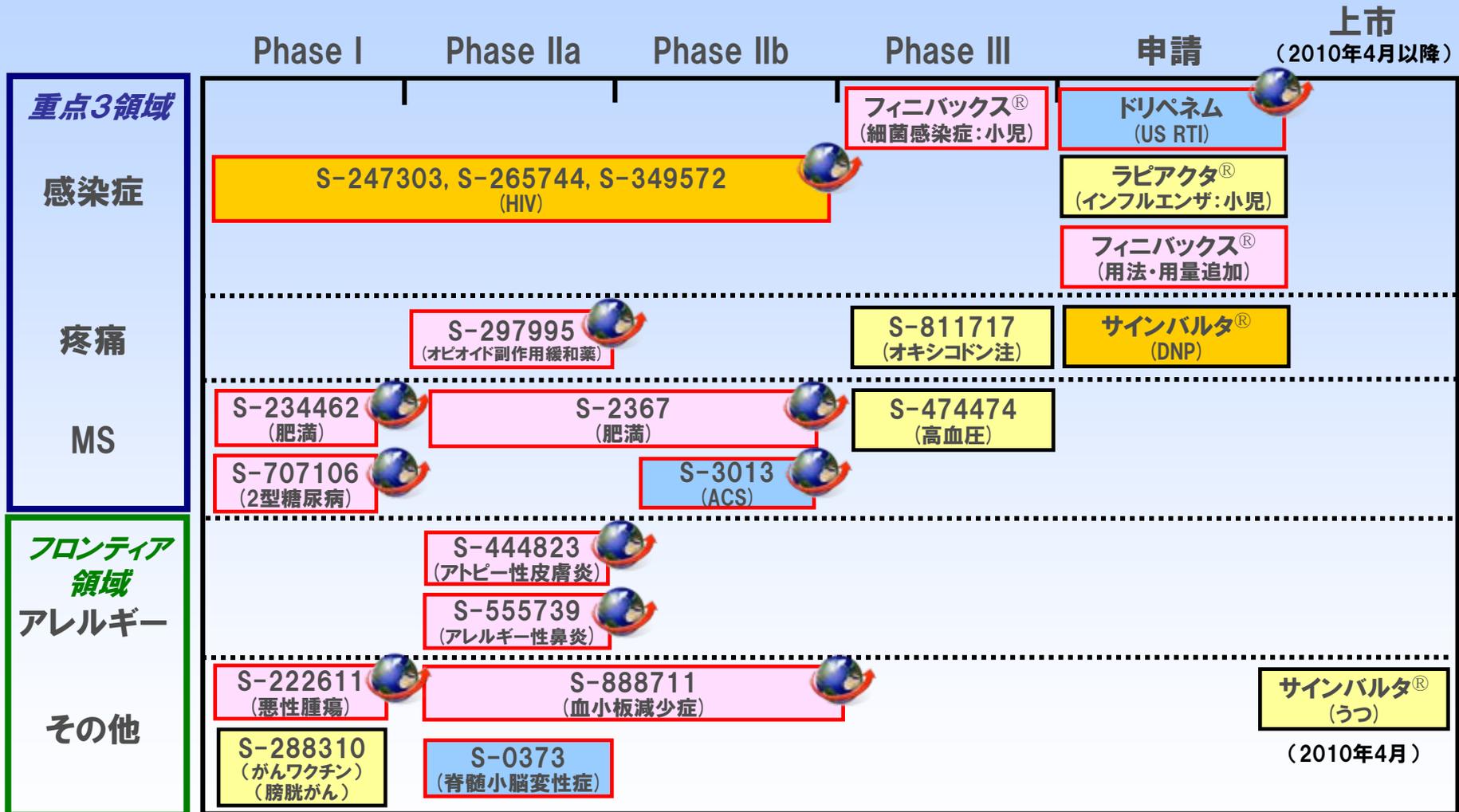
◆ 新発売

- 2010年4月 Prenate[®] Essential[™]：妊婦用ビタミン

◆ 開発品の追加

- Ospemifene：閉経後膣萎縮症
 - Phase III 終了

パイプラインの状況 (2010年5月時点)



自社創製グローバル開発品

自社品
導出品
共同開発品
導入品

RTI: 呼吸器感染症, DNP: 糖尿病性神経因性疼痛, ACS: 急性冠動脈症候群

2010年度の主要なマイルストーン

グローバル開発品目の進展	
S-2367	Orlistatとの併用Phase II 投薬完了(米国) Phase II の2試験投薬完了(国内)
S-349572*	Phase IIb 終了, Phase III 開始(米国・EU等)
S-555739	探索試験の追加実施
S-444823	Phase IIa 終了(国内)
S-888711	Immune thrombocytopenia以外のPhase II 開始
S-234462	Phase I 終了, Phase II 開始(米国)
S-297995	Phase IIa 終了(米国)
S-707106	Phase I 終了, Phase IIa 開始(米国)
S-288310	Phase I/II 終了(国内)

*: Shionogi-GSK(JV)での開発品

シオノギファーマのパイプラインの状況 (2010年5月時点)

一般名/適応	Phase I	Phase II	Phase III	申請	上市
Prenate DHA[®] 妊婦用ビタミン	(ビタミン, ミネラル, DHA, メタフォルイン)				(2009年4月発売)
Ulesfia[™] 頭じらみ	(ベンジルアルコール)				(2009年7月発売)
Adrenaclick[™] アナフィラキシー	(自己注射用エピネフリン)				(2010年1月発売)
Prenate[®] Essential[™] 妊婦用ビタミン	(ビタミン, ミネラル, DHA, メタフォルイン, ビオチン, ヨード)				(2010年4月発売)
Glycopyrrrolate 流涎症	(グリコピロレート)			(2009年9月申請)	
Clonidine HCL ADHD	(塩酸クロニジン)			(2009年10月申請)	
Pravastatin/Fenofibrate 脂質異常症	(プラバスタチン/フェノフィブラート)			(2009年11月申請)	
Jenloga XR 高血圧	(塩酸クロニジン)			(Phase III 終了)	
PSD502 早漏	(リドカイン/プリロカイン)			(Phase III 終了)	
Ospemifene 閉経後陰萎縮症	(オスペミフェン)			(Phase III 終了)	
ADX415 高血圧	(選択的 $\alpha 2$ 受容体 アゴニスト)				

循環・代謝

小児

婦人科